

ふれあいの心がつまっています。

ほけつと

2021 SUMMER
第130号

野木町社協情報誌 NOGI-TOWN POCKET

この情報誌は、一部赤い羽根共同募金配分金により発行しています。



目次

- P2 令和2年度
野木町社会福祉協議会事業報告
- P3 令和2年度
野木町社会福祉協議会決算報告
- P4 令和3年度野木町社会福祉
ボランティア連絡協議会
全体会/全体研修会

- P5 ふくしのつどいのぎ2021(予告)
- P6 マンデーボランティア講座 受講生募集
傾聴ボランティア養成講座
- P7 ウォーキングで体も心も健康に!
善意の寄付
ふれあい福祉総合相談
- P8 ボランティアチャレンジスクールの募集
ひとりぐらし高齢者交流会中止のお知らせ

要チェック!

ボランティアチャレンジスクール → P.8



令和3年度老人福祉センター講座
感染予防対策を講じて実施中!!

令和2年度事業報告

マークの事業は一部共同募金の配分金を受けて事業を実施しています。

法人運営

- (1)理事会3回開催、評議員会2回開催、監査会1回開催
評議員選任・解任委員会1回開催
- (2)会員増強推進

| | | | |
|----------|---------|----|------------|
| 会員数(寄付含) | 6,472世帯 | 金額 | 3,108,645円 |
| 賛助会員数 | 37事業所 | 金額 | 190,000円 |
- (3)善意の寄付

| | | |
|----|-----|----------|
| 金品 | 22件 | 505,964円 |
| 物品 | 12件 | |

居宅介護サービス事業の推進

- (1)介護保険事業

| | |
|--------------------|--------|
| ①居宅介護支援事業(ケアプラン作成) | 1,103件 |
| ②要介護認定調査 | 1件 |
- (2)高齢者の介護予防と包括的援助・支援

| | |
|------------------------------|--------|
| ①総合相談支援 | 4,151件 |
| ②介護支援専門員定例ケア会議の開催 | 3回 |
| ③予防給付介護予防支援事業 (予防ケアプラン作成) | 3,118件 |

地域福祉計画・地域福祉活動計画

- (1)地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理
推進委員会の開催2回開催
- (2)第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定事業
町民意識(アンケート)調査の実施

高齢者福祉の推進

- (1)高齢者友愛訪問事業 1回
- (2)高齢者と子どもの交流事業 1回

ふれあい福祉総合相談

- (1)総合相談

| | |
|----------|------|
| 心配ごと相談 | 1件 |
| 法律相談 | 42件 |
| 介護・高齢者相談 | 266件 |

障がい児・者福祉の推進

- (1)視覚障がい者朗読テープの作成と貸出

ボランティア活動

- (1)ボランティアの登録

| | |
|----------|------|
| 団体数 | 10団体 |
| 個人ボランティア | 54名 |
- (2)ホームページの開設
- (3)ボランティア保険加入数

| | |
|------------|------|
| ボランティア活動保険 | 727名 |
| ボランティア行事保険 | 147名 |
- (4)学童・生徒のボランティア活動普及事業の推進

| | |
|---------------|-----|
| ①協力校事業連絡会議の開催 | 年3回 |
| ②地域福祉新聞の発刊 | 年1回 |
- (5)ボランティア活動の推進と担い手の育成

| | |
|------------------|--|
| ①マスク作り活動 | |
| ②シトラスリボンプロジェクト協力 | |

生活支援・資金貸付事業

- (1)日常生活自立支援(あすてらす) 200回
- (2)生活福祉資金貸付 178件
- (3)社会福祉金庫貸付 13件
- (4)行路援護者援助 7件
- (5)緊急食料等給付 14件

法人後見事業

- (1)法人後見事業ケース検討会議1回開催
法人後見運営委員会2回開催
- (2)法人後見受任状況 1件

老人福祉センター(ホープ館)の管理運営

- (1)老人福祉センター事業

| | |
|------------------------|-----|
| ①生きがい講座 初心者向け養生気功講座 | 9回 |
| 初心者向けパソコン講座 | 17回 |
| 生活サポート運動教室 | 10回 |
- (2)老人福祉センター利用者数 7,591名

地域福祉啓発活動

- (1)社協情報誌「ぼけっと」の発刊 年4回

「きら輪号」の運行

- (1)新規登録者数 150名
- (2)きら輪号利用者数 7,460名

在宅福祉サービス事業

- (1)ふれあいサービス(住民参加型在宅福祉サービス)事業 35件
- (2)配食サービス事業 1,988食

| | |
|-----------|-----|
| 配食ボランティア数 | 43名 |
|-----------|-----|
- (3)外出支援サービス事業 51回
- (4)福祉機材(車いす)貸出事業 39件
- (5)災害時における支援活動・災害ボランティアセンター
設置に係る整備

| | |
|--------------------------------------|--|
| ①災害ボランティアセンター運営研修(1/28) | |
| ②コロナ禍における災害ボランティアセンター 運営研修会(3/23) | |

日本赤十字社活動と共同募金活動

- (1)日本赤十字社栃木県支部野木町分区事務局

| | |
|------------------------------|------------|
| ①日本赤十字社社員募集(5月) 募金総額 | 3,183,850円 |
| ②災害等による被災地への義援金等の受付 義援金総額 | 110,000円 |
- (2)栃木県共同募金会野木町支会事務局

| | |
|--------------------------|------------|
| ①赤い羽根共同募金運動(10月) 募金総額 | 2,771,558円 |
|--------------------------|------------|

令和2年度 決算報告

資金収支計算書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

(単位:円)

| | |
|--------------|--------------|
| 事業活動収入 | 158,026,908 |
| 事業活動支出 | 152,870,403 |
| 事業活動資金収支差額 | 5,156,505 |
| 施設整備等収入 | 0 |
| 施設整備等支出 | 461,994 |
| 施設整備等資金収支差額 | △ 461,994 |
| その他の活動収入 | 0 |
| その他の活動支出 | 10,662,184 |
| その他の活動資金収支差額 | △ 10,662,184 |
| 予備費支出 | 0 |
| 当期資金収支差額 | △ 5,967,673 |
| 前期末支払資金残高 | 19,587,450 |
| 当期末支払資金残高 | 13,619,777 |

事業活動収支計算書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

(単位:円)

| | |
|-------------|-------------|
| サービス活動収益 | 157,858,606 |
| サービス活動費用 | 160,914,828 |
| サービス活動増減差額 | △ 3,056,222 |
| サービス活動外収益 | 6,792 |
| サービス活動外費用 | 0 |
| サービス活動外増減差額 | 6,792 |
| 経常増減差額 | △ 3,049,430 |
| 特別収益 | 0 |
| 特別費用 | 0 |
| 特別増減差額 | 0 |
| 当期活動増減差額 | △ 3,049,430 |
| 前期繰越活動増減差額 | 12,877,951 |
| 当期末繰越活動増減差額 | 9,828,521 |
| 基本金取崩額 | 0 |
| その他の積立金取崩額 | 0 |
| その他の積立金積立額 | 4,959,016 |
| 次期繰越活動増減差額 | 4,869,505 |

貸借対照表

令和3年3月31日 現在

(単位:円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|------|-------------|-------------|-------------|
| 流動資産 | 34,940,046 | 流動負債 | 21,320,269 |
| 固定資産 | 151,349,148 | 固定負債 | 63,466,270 |
| | | 負債合計 | 84,786,539 |
| | | 純資産の部 | |
| | | 基本金 | 1,000,000 |
| | | 基金 | 64,011,229 |
| | | 国庫補助金等特別積立金 | 0 |
| | | その他の積立金 | 31,621,921 |
| | | 次期繰越活動収支差額 | 4,869,505 |
| | | 純資産合計 | 101,502,655 |
| 資産合計 | 186,289,194 | 負債・純資産合計 | 186,289,194 |

令和3年度 野木町社会福祉ボランティア連絡協議会 全体会/全体研修会



4月24日、町老人福祉センター(ホープ館)に37名の町のボランティア仲間が集い、町ボランティア連絡協議会の全体会・全体研修会が行われました。

全体会では、田畑義明会長より令和2年度の1年間の活動が報告され、令和3年度の事業計画と引き続き会長に就任された同会長をはじめ新役員が紹介され承認されました。



ボランティア取材レポート 走辺 寿美子 全体研修会

「令和元年東日本台風の被害状況とコロナ禍での災害ボランティアについて」

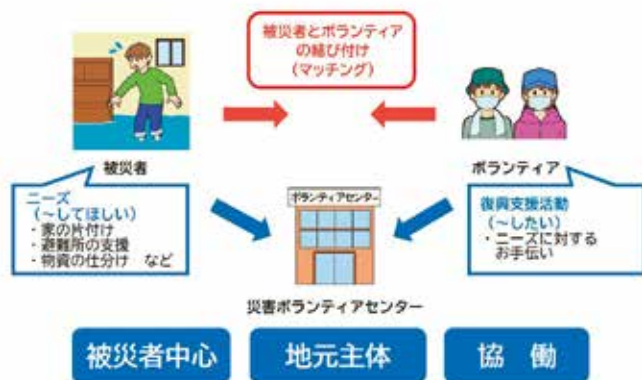
講師：津布久剛史氏(栃木県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア課)

会場は、新型コロナウイルス感染症対策がとられ、一人一人の間隔が広くとられ、換気をするためか、窓が開けられていた。外からの風が吹き抜ける。そのためか、コートを着たままの人が多い。

プロジェクタースクリーンに映し出されているのは、令和元年10月に起きた東日本台風(台風19号)の県内の被害状況の写真。鹿沼市栗野町や佐野市の被害の様子に、当時のことが蘇ってきた。講師の津布久氏によると、県内の住家被害は18,791件にも及び、県内21市町に災害救助法が適用されたという。この時、県内10カ所に災害ボランティアセンターが設置され、ボランティア受付(活動)数は、延べ27,000人を超えた。

ところで、「災害ボランティアセンター」とは？

津布久氏は、「社会福祉協議会では、普段からボランティアの推進や支援を行っています。災害発生時には、災害ボランティアセンターを開設し、被災された方のニーズを集約し、支援活動を希望する個人や団体の受け入れ調整やマッチング活動を行います」と、説明してくれた。スクリーンには、佐野の災害ボランティアセンターで受付をしているボランティアの方々の様子が映し出されていた。その時、私事ですが、10年前の



東日本大震災の時に、野木町社会福祉協議会で集った災害ボランティアとして、2回ほど宮城県七ヶ浜町へ行ったことを思い出した。受付には、全国から高校生から社会人まで大勢の人たちが集まり、中には外国人もいて驚いた。その後、係員からの今日の作業の説明を受け、ラジオ体操をし、現場のリーダーの元、さっそく、ヘルメット、防塵マスク、ゴーグルという出で立ちで、浜辺の被害にあったお宅の作業にのぞんだ。小雨の降る中、床板をはがす人、床下の泥砂や瓦礫を撤去する人、草取りをする人に分かれ、みんな黙々と作業をし続けた。床下の泥砂から主にガラスの破片を撤去する作業中、子どものゲーム機や中学校のアルバムを見つけた時、胸が締め付けられたのを、今でも鮮明に覚えている。午後の土嚢運びの作業も終え、ほんのわずかだけど、被災者の役に立ったという自己満足で、疲れも感じなかった。今、津布久氏が説明している「ボランティアとは、自分の意志で自発的に行う社会参加活動」だったことは間違いない。あの時、確かに、私は誰からも強制されたわけではなく、自主的に参加し、その結果、お金では得られない感動があった。

だが、今のコロナ禍での災害に対応するには、どうしたらいいのだろうか？ ボランティアには**感染防止対策の徹底が必要**とされる。一番のリスクは感染拡大だ。日々の体調管理、検温、マスク、手洗い、消毒はもちろん、作業中の密接回避が求められる。令和2年7月の熊本県の豪雨被害では、感染防止のため、**ボランティアを県外から受け入れず、市町内や県内に限定**した。当然、支援者が減少したことで、復興が長期化し、被災者の疲弊が長くなり、被災関連死が増加することが起こりえることが心配された。

そこで、津布久氏は、**日頃から災害に備える3つの「助」**が大切と話す。まずは、「自助」。これは住宅の耐震診断や家具の転倒防止対策、非常用持ち出し品の準備などだ。家庭内でハザードマップや避難場所、家族との連絡方法の確認も重要。その時、避難所までの道も危険なこともあり、要判断。それから「共助」(互助)。①**まずは町を知ること**。災害時に危険な場所はないだろうか？ 一時避難できる公園や消火設備の場所、井戸などの水源、病院などの確認。②**それからひとを知ること**。地域にどのような人が住んでいるか？ 災害時も隣近所で声をかけ合うことが大事。自主防災組織や町会行事の継続なども。③**まち・地域を共有すること**。防災マップ作りや防災まち歩き、見守りネットワークの形成、要援護者名簿・支援計画の作成、防災ボランティア講座、そして防災訓練の実施。

「コロナ禍で、災害が起きたら、地域の皆の力で災害に打ち勝つ！」……この事が大事と力説する津布久氏。サロンや見守りなどの普段の地域活動や、向こう三軒両隣の「顔の見える」関係、住民同士の助け合いが大事と。その結果、誰もが住みよい福祉の町へ。その結果、災害にも強い町作りができるかとまとめた。**災害にも強い福祉のまちづくりを！**……このことを、あらためて学習した講演でした。



災害に備えた3つの「助」



予告

ふくしのつどいのぎ 2021

日 時 12月4日(土)

場 所 ホープ館(町老人福祉センター)

詳細は、ぽけっと131号にてお知らせします!

傾聴講座～コロナ禍の今こそ、身につけませんか？～

誰かに話を聞いてもらって、ふと気持ちが楽になった経験がありませんか？お話の中からあなたの気持ちを感じ取ったり、うなずいたり、共感しながら「聴く」ための技術が「傾聴」です。普段の生活にも生かせる「聞き上手」になるテクニックを身につけませんか？初めての方も、経験者の方も、是非お気軽にお申し込みください。

- 日 時：10月7日(木)・10月20日(水)・10月28日(木)
午後1時30分～午後4時 (全3回)
- 講 師：栃木県傾聴ボランティア連絡協議会 会長 黒川 貢 氏
- 内 容：傾聴に関する講義、演習(初級)
コロナ禍における傾聴活動の現状について



マンデーボランティア講座

「何か人のためになることがしたい！」
「ボランティア活動をはじめてみたいけど、どうしたらいいかわからない。」
そんな方に向けて、活動に役立つ知識や技術を学べるプログラムをご用意しました。
ふるってご参加ください！！

- 日時・内容：第1回 8月23日(月) 開会式・オリエンテーション
- 第2回 8月30日(月) 介助技術体験
- 第3回 9月 6日(月) 福祉技術体験(手話・点字・朗読より選択)
- 第4回 9月13日(月) 福祉技術体験(手話・点字・朗読より選択)
- 午後1時30分～午後4時 (全4回)



受講申込方法

- 場 所：ホープ館(町老人福祉センター)
- 定 員：各10名
(定員になり次第締め切らせていただきます)
- 対 象 者：野木町在住・在勤の方
- 受 講 料：無料
- 申 込 方 法：電話または来所の上、お申し込みください。
- 受 付 期 間：令和3年7月8日(木)より受付開始 午前8時30分～午後5時15分
- 申 込 先：野木町社会福祉協議会(町老人福祉センター内) 野木町友沼5840-7
Tel：0280-57-3100 Fax：0280-57-3101



感染対策を十分に行って実施します

ウォーキングで体も心も健康に！

ウォーキングの効果

- ・脂肪を燃焼させるダイエット効果
- ・内臓脂肪を減らす効果や、コレステロール・
血圧・血糖値を改善する効果
- ・骨粗しょう症の予防
- ・ストレスを発散する効果

効果的なウォーキング

- ・大腿で地面を力強く蹴って歩く
- ・うっすらと汗ばむ程度に早歩きする
- ・息が弾むぐらいのペースで歩く

老若男女問わず誰でも手軽にできる運動で、健康効果が盛りだくさん！

無理のないペースでウォーキングを始めてみませんか？

ウォーキング中はこまめに水分補給をしましょう



引用

Medi Palette 食と健康

健康長寿ネット 健康長寿に効果的なウォーキング

善意の寄付

(敬称略)

4月

・渡邊会計事務所 50,000円

5月

・匿名 100,000円

・栃木県退職公務員連盟

小山支部 未使用タオル93本

・サロン中古屋有志 雑巾80枚

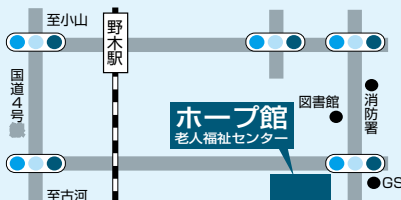
ありがとうございました!!



『ふれあい福祉総合相談』のお知らせ

野木町社会福祉協議会では、日頃から抱えているいろいろな悩みや問題について、相談に応じられるように「ふれあい福祉総合相談」を開業しています。

| 相談種別 | 相談日・時間 | 相談内容 |
|---------------------|-----------------------|----------------------------------------|
| 心配ごと相談 | 毎月第1水曜日 午前10時～正午 | 家庭の悩み 心配ごとのある方 |
| 法律(弁護士)相談 | 毎月第3木曜日 午前10時～正午 | 法律に関わる相談のある方 予約が必要ですので、下記までご連絡ください。 |
| ボランティア相談 | 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 | ボランティア保険の加入や、社会福祉支援活動等に関する相談のある方 |
| 介護相談 | 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 | 介護に関する相談のある方 |
| 生活資金・ 地域福祉権利擁護相談 | 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 | 生活資金や日常金銭管理に心配のある方 |



場所・問い合わせ先

野木町社会福祉協議会
(野木町老人センター内)

電話 57-3100

FAX 57-3101

●相談は無料・秘密は厳守いたします

●法律相談は、事前予約が必要です

また、相談については原則として1人

2回(令和3年度内)とします

つながる! ボランティアチャレンジスクール

今年のテーマは「障がい～からだに障がいがあるってどういうこと?みんなが暮らしやすい町って何だろう～」です。

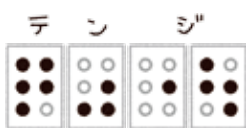
1日目 8月17日(火)

開講式・オリエンテーション
おはなし「聖火リレーのお話を聞こう!」
パラスポーツにチャレンジ「卓球バレー」



2日目 8月18日(水)

手話・点字・朗読を学ぼう!



3日目 8月19日(木)

障がいについて学ぼう!
障がい体験をしてみよう!



新しい出会い、学校ではできない体験がもりだくさん!!

日時 令和3年8月17日(火)～19日(木) 計3日間
AMコース 9:00～12:00 集合時間 8:50
PMコース 13:30～16:30 集合時間 13:15
3日間通して参加しやすいコースで申し込みください。

場所 ホープ館(町老人福祉センター)

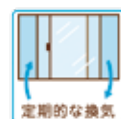
対象・人数 町内在住 小学4年生～中学3年生 各コース12名
※定員を超えた場合は抽選とします。

参加費 無料

申込方法 申込用紙を直接窓口(ホープ館)に持参してください
※申込用紙は社協HPからダウンロード、または
ホープ館にて配布しています。

受付期間 令和3年7月5日(月)～16日(金) 9:00～17:00
(土・日・祝日を除く)

申込・問合せ 野木町社会福祉協議会(町老人福祉センターホープ館内)



感染対策を十分に行って実施します

みんなまってるよ～!!



令和3年度 第1回ひとりぐらし高齢者交流会 中止のお知らせ

第1回ひとりぐらし高齢者交流会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、また参加される皆様の健康と安全を第一に考え、中止とさせていただきます。

何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。